

県民の友 4月号

(平成5年/1993年)

No.656

発行 和歌山県知事公室 広報公聴課
〒640 和歌山市小松原通1-1
☎0734(32)4111

4月のこよみ
・春の全国交通安全運動 4月6日~15日



ふるさと新時代へ着実に

平成5年度県予算決まる

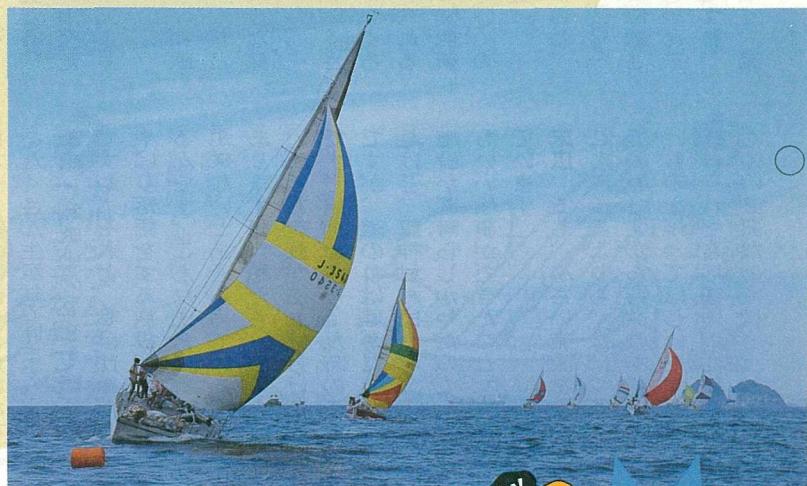
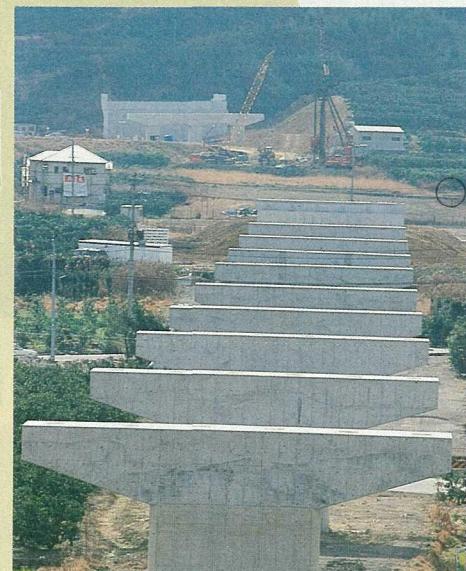
総額**4,907億7,178万4千円**



来年に迫った関西国際空港の開港、そして世界リゾート博の開催……和歌山がさらなる飛躍を遂げるまたとない機会が訪れようとしています。

県ではこの機会を的確にとらえ、ふるさとの新しい時代を切り拓くことを目標に平成5年度の予算を編成しました。

(4~5面で特集)



WAKAYAMA JAPAN EXPO

世界リゾート博

平成6年7月16日(土)~9月25日(日)

主会場/和歌山マリーナシティ 平成5年7月~オープニングイベント開催(県内各地)



500日前イベント華やかに開催

世界リゾート博主会場開幕まであと500日にあたる3月3日、伊都会場と和歌山会場でそれぞれ500日前イベントが開催されました。

和歌山市民会館で行われた和歌山会場では、「紀の女性、才食健美」とし、現代のさわやかで知と健康にあふれた女性を目指すことがテーマ。

チャック・ウイルソンさんをゲストに迎え、いつしょにエアロビクスを楽しむシ



ヨーヨー子供映画劇場の後、フォーラム「ウェルネス・エイジング」を開きました。ウェルネスとは心と体のバランスのとれた状態のこと。フォーラムでは小林照子さんや渡辺裕之さんらを迎えて、熱心な

討論が繰り広げられました。

一方、高野口町産業文化会館では、評論家、吉武輝子さんによる講演や近代史を飾った女性の肖像/パネル展、女性問題に関するコントなどを行い、にぎわいを見せっていました。

世界リゾート博県民運動啓発標語決定

かねてから募集していた世界リゾート博県民運動啓発標語。応募総数1,256点の中から、最優秀作品が次のように決まりました。多数の応募、ありがとうございました。

最優秀作品

■緑と花づくり運動

ひろげよう 花と緑の 紀州路を
高垣皓さん (美浜町)

■環境美化運動

「美しい」 そんな一言 この町に
榎本桂子さん (田辺市)

■まごころの輪づくり運動

あたたかい 土地です人です
紀州です!

小川留美子さん (田辺市)

そのほか、優秀賞3点が決まっていま
す。世界リゾート博県民運動への参加、
よろしくお願いします。

紀の国大使座談会

「ふるさと和歌山を考える」



藤田平さん
(野球解説者)
和歌山市出身。高校時代、春の甲子園準優勝。
阪神に入団。セ・リーグ首位打者2,000本安打達成により名球会入り。

末広真季子さん
(タレント)
白浜町にも家を持ち、
休日は白浜で過ごすことが
多い。司会、テレビ、
ドラマ、講演など幅広く
活動。

桂文福さん
(落語家)
桃山町出身。和歌山県農業大学校講師。「ダループ奈席あつめ」のリーダー。テレビ、ラジオ、講演など活動。

小西 博之さん
(俳優)
田辺市出身。映画「女
術」、「熱きまなざし」、
テレビ「ママの転勤」な
どに出演。

末広 変わっている所もたくさんありますよ。それに特急くろしおが新大阪へ直接乗り入れるようになつた。これから関西新空港ができてどうなつていくのか気になるところですね。

桂 今は準備段階ですからね。

世界リゾート博もそうですけど、**小西** 東京では和歌山の位置さえ知らない人が多い。もっとアピールすることが必要ですね。

中途半端なやり方ではなく、流

歌山には、どこに出来ても恥ずかしくない自然がありますから。
末広 田辺湾で夕日を見た時、これは本当に素晴らしい財産だと感じました。夕日が普通よりも大きく見えましたよ。

都会にはない
自然を

また、座談会の前に、月刊タウン誌「かまん・くまの」を発刊、会員約二十人でボランティア活動やコンサートの開催など幅広く活躍している見臺洋一さんによる意見発表が行われ、ふるさとへのこだわりからまちおこし、むらおかこしに至るまでを力強く述べられました。

座談会では、紀の国大使の意見が白熱。その一部を抜粋して紹介します。

末広 でも、小さい施設をあちこちに作るよりも、数は少なくいいですから特徴のある大きいものを作ってほしいですね。
桂 それでも地域の最低限度のものは必要なのです。

です。龍神村へ行った時のことがですが、道のりは確かに遠かっただけど、龍神村村民センターの施設が素晴らしかったのでとてもいい仕事ができたことを覚えています。

桂 和歌山はかすみ草の生産が日本一。そのほか、きれいな花をたくさん生産しています。「花王国・和歌山のPRも欲しいですね。それと、私は仕事がやはり落語をする施設が気になります。こんな田舎には芸人が来ないとあきらめている所がありますね。私たちはいくら違うんです。このPRでも施設があれば手に入る」と

「花王國・和」
行に乗ったおしゃれな感覚を前面に押し出すのか、それとも思いっきり泥くさい、田舎くさいやり方で行くのか、明確に路線を打ち出すことが必要だと思いません。

タウン誌「かまん・くまの」ノティア活動やコンサートの意見発表によると、臺灣一さんによる意見発表もありからまわおーし、むらおかられました。

小西 結局、地域をいかに活性化させるか、いかにアピールするかの問題ですね。例えば、ヨーロッパの町では花でいっぱいの所が多い。それも統一されている。すべて地元の人々の協力によるものだと思います。

末広 住んでいる人の誇り、プライドがそうさせるんだと思います。私たちはこんな素晴らしい所に住んでいるんですよと訪れた人たちに訴える。植えられた花々は住んでいる人たちの笑顔を人々に伝えていくんです。和歌山でも、世界リゾート博へ来る人たちに町をアピールすればいい。通過するだけでも心に残るものがあるはずです。

藤田 ある町にプロ野球の球団がキャンプに行く。するとその後、大学のクラブがやって来たり、人が集まりイベントが続いていく。そういう効果もあると思います。人、企業が来やすいように施設、交通基盤の面はやはり充実することが必要でしょうね。

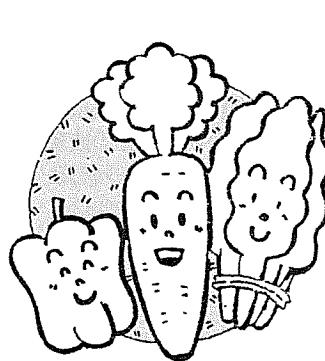
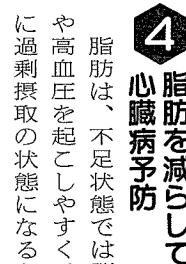
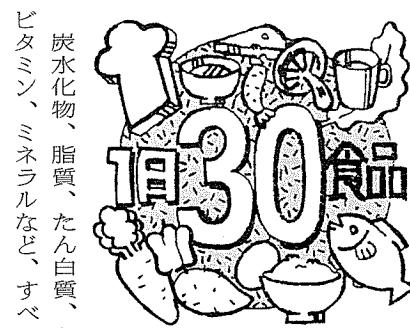
藤田 これから和歌山には、道の整備や他府県へのアピールも必要ですが、世代を超えた「ミュニケーション」こそが重要な要素でありますね。

末広 今は転換期だと思います。地域の人が協力して熱く燃える前向きに行動するのを照れないで欲しかった。

シ	小西	今 の 和歌山 に 必要なのは 若い人。若い人がいない。例え ば、今日の会場でもっと若い 人に来てほしい。目のギラギラ した若者に話を聞いてもらいた いですね。
ヨ		
ン		
ル		
ル		

いろんな筋肉を使い、いろんな可能性をつくる。スポーツ以外でも同じようなことが言えると思います。

スン中に見ることはほとんどないのですが、たまたま練習している大リーガーを見て、野球に対する取り組み方の違いを感じたんですね。本当に野球を楽しんでいるんですね。それ以後、練習に対する考え方がありまして。私は若い人にいろんなスポーツをしながら見てもらいたいと思います。



1 いろいろ食べて成人病予防

炭水化物、脂質、たん白質、ビタミン、ミネラルなど、すべての栄養素を過不足なくとることが、成人病予防のための食生活の基本。主食（ごはん、パンなど）、主菜（肉、魚、卵など）、副菜をそろえ、目標は一日三十分を過ぎないよう。

2 日常生活は食事と運動のバランスで

エネルギーの過剰摂取は肥満を招き、心臓病、糖尿病などにかかりやすくなります。食事はいつも腹八分目。運動十分で食事を楽しもう。

3 減塩で胃がん予防

食塩をとり過ぎると高血圧、ひいては脳卒中や心臓病を起こしやすく、塩からい食品の通り過ぎは胃がんになりやすくなりります。食塩摂取量は一日十グラム以下。調理の工夫で無理なく減塩しましょう。

4 脂肪を減らして心臓病予防

脂肪は、不足状態では脳卒中や高血圧を起こしやすく、反対に過剰摂取の状態になると心臓病予防

成人病予防のための食生活指針

2 日常生活は食事と運動のバランスで

この栄養素を過不足なくとることが、成人病予防のための食生活の基本。主食（ごはん、パンなど）、主菜（肉、魚、卵など）、副菜をそろえ、目標は一日三十分を過ぎないよう。

5 生野菜、緑黄色野菜でがん予防

野菜などに多く含まれているビタミンCやカロチンには発がん抑制作用があることが分かっています。生野菜、緑黄色野菜を毎食の食卓に。

6 甘い物は程々に

砂糖は吸収されやすく、肥満の原因となります。肥満は糖尿病を左右するともいいます。

木地づくりの工程には、素材となる木材の選択に始まり、板切り（木取り）、削り、留付けなどがありますが、その間には幾度か乾燥させなければならず、

健康は「食」とあります

病、大腸がんなどの原因となります。動物性脂肪、植物油、魚油をバランス良くとりましょう。

7 カルシウムを十分とつて丈夫な骨づくり

伝統ある貴重な工芸品や生活用品の製作などの技能を持ち、地域社会において技術文化の向上発展に功績のある方に贈られる「和歌山県名匠表彰」。

このほど、海南市の漆器木地師、岡田昇さん（六五歳）が平成四年度の名匠表彰を受賞されました。

全国に知られた漆器の町・海南市黒江に生まれた岡田さんは、十七歳の頃から父であり師と仰いだ故岡田虎次郎さん（昭和五十五年度、名匠表彰受賞）の指導を受け、木地師としての伝統的な技術を受け継ぎました。

漆器は、木地、下地、塗り、加飾などの工程を経て製作されますが、基本的な仕事だから、一層高度な技術を要するとされる木地づくりが製品の良否を左右するともいいます。

木地づくりの工程には、素材となる木材の選択に始まり、板

豊かな食生活とともに外食の機会も増えて、「グルメブーム」とも言われている今日。四季を問わない豊富な食べ物、食べ方、食事時間などの食に関するライフスタイルの個別化、多様化がすすんでいます。しかし一方では、カルシウムの不足、食塩、脂肪のとりすぎなど多くの問題点があります。

成人病の大部分は初期に自覚症状がないので、早期発見、早期治療のため、検診を受けることはとても大切。

そして、予防としては食事、睡眠、運動量などの日常の生活習慣に注意を払うことが最も効果があると言われています。

県では、「栄養バランスのとれた食生活」の知識を深めてもらうため、このほど「グリーン&ホワイト展」を開催しました。

食生活に関するパネル展示やコンピューター解析による食事診断を行う栄養相談コーナー、糖尿病などの慢性疾患食事展示コーナーなどを会場に設け、関心を集めています。

習慣病と言われる成人病。その予防のためにも日常の食生活をもう一度見つめ直してみませんか。



和歌山市で開催された「グリーン&ホワイト展」から(2月26日)

6 食物繊維で便秘、大腸がんを予防

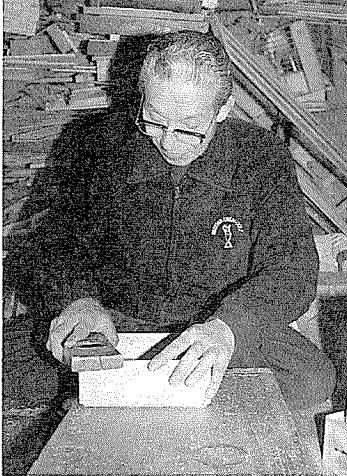
食物繊維が近年、便秘のほか、大腸がん、虚血性心疾患、糖尿病などの成人病予防に役立つと考えられるようになりました。食卓には、野菜、海藻をたっぷり。

9 禁煙、節酒で健康長寿

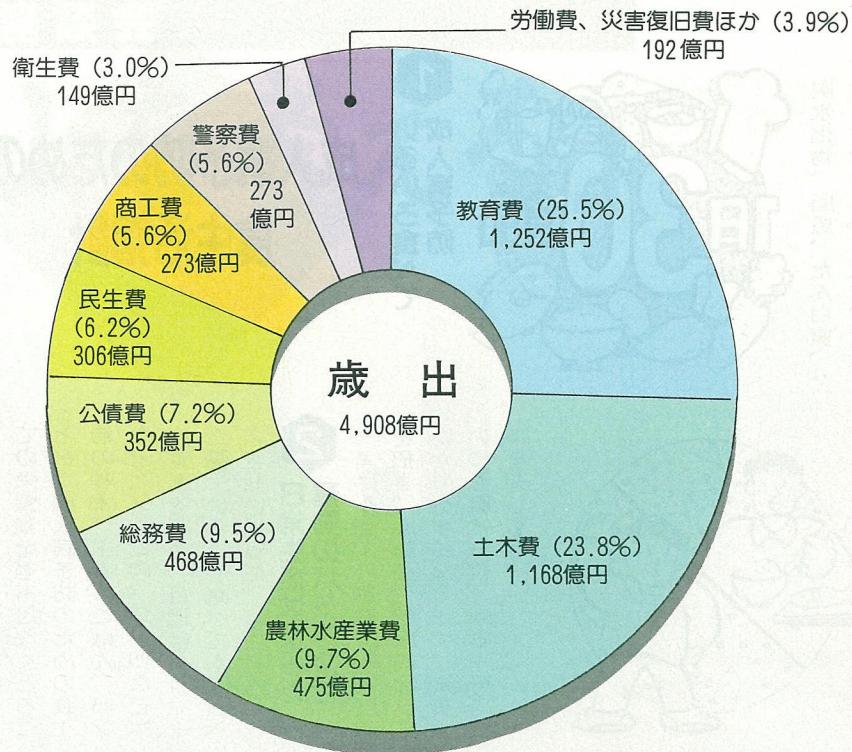
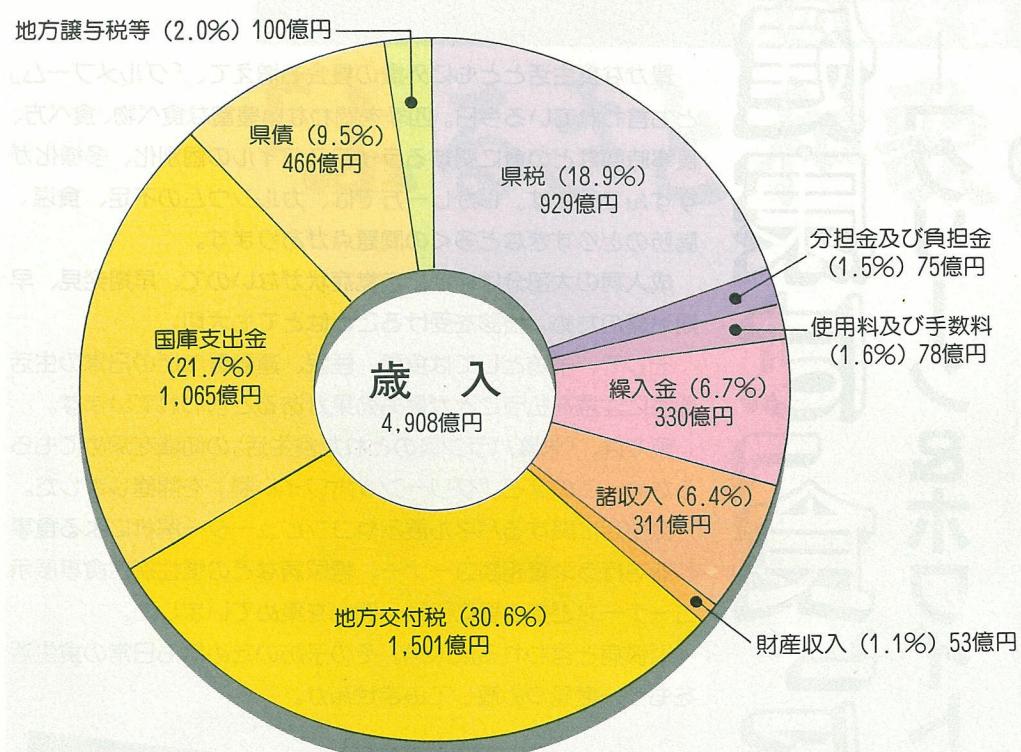
喫煙によって、肺がんだけではなく、喉頭がん、食道がんはじめ多くのがんによる死亡率が増加します。百葉の長といわれる酒も、多く飲み続けると、肝炎、肝硬変、肝臓がんなどの危険を始めとする成人病の引き金になっています。糖分を控えて肥満を予防しましょう。

病を始めとする成人病の引き金になってしまいます。糖分を控えて肥満を予防しましょう。

伝統の技を受け継ぐ和歌山県名匠表彰



リスクが高まります。



スポーツ・文化の振興

スポーツ県和歌山の推進 新 1,000万円
スポーツチームを指定し、企業と連携して競技水準の向上を図る。また、チーム、選手を科学的に支援するトレーナーを養成する。

熊野学研究センター(仮称)構想の調査 1,400万円
熊野地方の自然、歴史、文化の研究施設の設置に向け基本調査を実施する。また、全国の熊野学研究者を集め、シンポジウムを開催する。

新美術館・博物館の建設
93億7,700万円
来年3月の完成を目指し、建設を進めます。



自然公園施設の整備

1億4,100万円
自然とのふれあいを推進するため、国立、国定公園内に利用施設を整備する。



「世界リゾート博」関連予算は、総額74億8千万円

いよいよ来年開催される「世界リゾート博」関連の予算は、和歌山館の建設や道路の補修、道路環境の美化のほか、「緑と花づくり」等県民運動の推進など博覧会終了後も県民の皆さんにとって貴重な財産となるものが中心になっています。

自治体館の出展

4億2,700万円

マリーナシティ和歌山館内に設けられる自治体館の展示実施設計や映像ソフトの制作などをを行う。

「世界リゾート博」関連交通安全施設整備

5億1,400万円

博覧会期間中の交通渋滞対策として、旅行時間提供システム、駐車誘導システムなどを整備する。

「世界リゾート博」推進県民運動の実施

8,800万円

県民総参加の博覧会を目指し、「緑と花づくり」等の県民運動を展開する。

地域産業の育成

中小企業等への資金融資 125億4,300万円
中小企業金融対策として融資総額を拡大するほか、低利の緊急経営資金特別融資(不況対策資金)を設ける。

工業用地の造成 55億1,200万円
御坊工業用地、御坊第2工業用地の造成を継続する。また新たに工業用地2地域の造成を開始する。

工業技術センターの再編整備 1億円
地域産業ハイテク化、情報化等を促進するため、研究交流棟の建設に引き続き、本館の新築に着手する。

するため、研究交流棟の建設に引き続き、本館の新築に着手する。



農林水産業の振興

農村活性化住環境整備 新 5,300万円
農村の住環境の快適性の向上など定住条件を整備し、地域の活性化を図る。

果樹高度生産モデル団地の設置 新 2億2,600万円
かんきつ産地での高品質果実の低コスト

ト生産技術の確立と高性能選果施設の整備に対し補助を行う。

新林業労働力確保総合対策 新 7,300万円

事業体の育成・強化や林業作業の軽減化など新しい林業労働力確保の総合対策を実施する。

森林整備担い手基金の設置 新 10億円

森林整備の担い手対策を積極的に推進するための基金を設置する。

資源管理型漁業推進総合対策

2,800万円

資源の水準、地域の実情に応じた漁業を推進し、経営の向上安定を図る。

観光・リゾート産業の振興

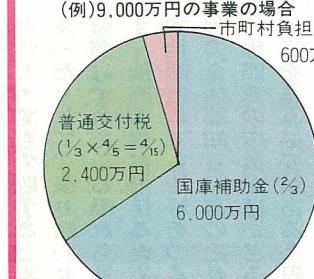
和歌山県イメージアップの推進 1億3,400万円
関東、関西、東海圏でテレビスポット放映を実施する。

大型キャンペーンの実施

2,000万円

「世界リゾート博」をPRするため、JR6社と協力して全国規模の宣伝を実施する。

市町村が実施する同和対策事業には、市町村単独事業、県費補助事業及び国庫補助事業があります。そのうち国庫補助事業については、国庫補助金と地方債がその財源となります。市町村の借金であり後年度に返済しなければなりませんが、国庫補助事業の地方負担に充てる財源として発行した地方債の元利償還金については、原則としてその八割が普通交付税として補てんされます。つまり、国庫補助率三分の一の同和対策事業の場合、残りの三分の一の地方負担を地方債で財源措置すると、その元利償還金の五分の四が普通交付税で交付されるため、市町村の最終負担割合は、 $\frac{1}{3} \times \frac{4}{5} = \frac{4}{15}$ で約6.7パーセントとなります(例図参照)。さらに、市町村が単独で行う事業など普通交付税で財源措置されないものについても、特別交付税により市町村の財源負担の軽減が図られています。平成4年度で措置された特別交付税は約36億円です。

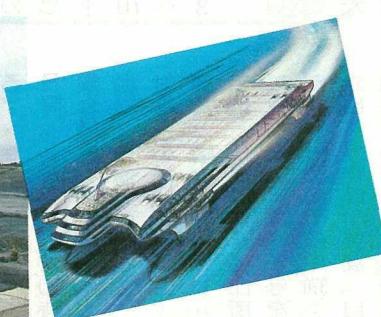
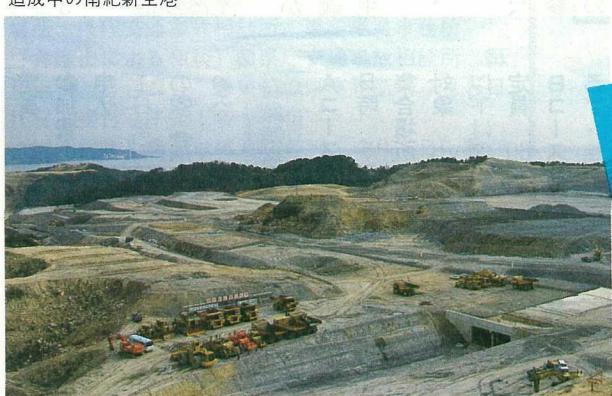


同和対策事業と地方交付税

さるふた

陸・海・空の交通体系整備

紀淡連絡道路の調査推進	新 1億5,000万円
建設省が行う紀淡連絡道路に関する現況調査を支援し、早期実現を図る。	
ふるさと農道・林道緊急整備	新 8億4,400万円
紀の川左岸九度山地区や御坊市名田塩屋地区の農道、紀南を縦貫する林道となる小丘小森川線、広見川線などを整備する。	
大島大橋(仮称)橋梁整備	新 2億7,000万円
串本町串本一大島間を結ぶ橋の架設のための調査、設計に着手する。	
近畿自動車道紀勢線環境現況調査	新 1億円
近畿自動車道紀勢線・田辺市～すさみ間の環境を調査する。	
造成中の南紀新空港	



健康の維持・増進

健康ふれ愛和歌山計画の推進	2億3,400万円
和歌山市の旧国鉄和歌山操車場跡地に建設予定の健康・福祉センターと多目的ホールの設計などを実施する。	
県立医科大学の移転整備	6億3,700万円
和歌山市の紀三井寺競馬場跡地に移転整備する県立医科大学の病院施設の実施設計および看護婦宿舎の建設工事を実施する。	



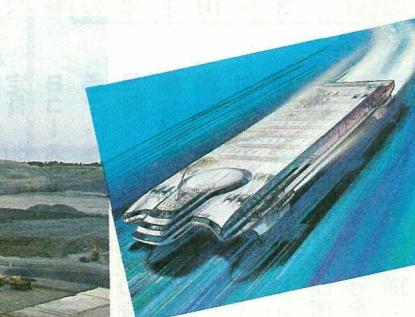
社会福祉の充実・同和問題の解決

在宅老人福祉事業の拡充	6億5,900万円
ホームヘルパーの増員、ショートステイの利用定員の拡大、デイサービス施設の増設を行う。	
老人福祉施設の整備	12億2,300万円
特別養護老人ホーム2カ所、デイサー	



関西国際空港関連道路の整備

県道泉佐野岩出線、岬加太港線、粉河加太線で用地買収や工事を促進する。	12億1,700万円
街路の整備	44億1,000万円
和歌山市、海南市、御坊市、新宮市、白浜町などで街路の整備を促進する。	
南紀新空港の建設	64億9,600万円
南紀新空港の本体盛土工事や進入灯、橋梁工事などを促進する。	
国際複合輸送(ICT)拠点整備推進調査	2,000万円
超高速船「テクノスーパーライナー」の導入を核に、陸・海・空の物流、情報集積など複合的な拠点づくりについて調査・研究する。	



むだなく、たくましい筋肉質な予算に

新年度の県予算は、一般会計予算4,907億7,178万4千円、特別会計予算916億5,520万円、企業会計予算236億5,090万6千円。

税率が2年連続して前年度を下回ると見込まれるなど、財政状況が依然として厳しい状況の中で、歳出の節減・合理化を徹底するとともに、国の財源措置のある起債やこれまで積み立ててきた各種基金を活用するなど各種の工夫をこらし、一般会計予算で前年度に比べて3.0パーセント増、特に県単独の投資は13.8パーセント増と投資重点型の積極的な予算になりました。

「交通基盤充実」、「健康・社会福祉の維持・増進」、「生活環境の整備」、「人づくりと文化の振興」、「地域経済の活性化」といった5つの柱に沿って編成した県予算に盛り込まれた事業のうち主なものを紹介します。新は新規事業 10万円以下は四捨五入

住みよいまちづくり

和歌山マリーナシティの建設

67億6,200万円
来春竣工予定の国際リゾート都市「和歌山マリーナシティ」の進入道路、護岸工事など基盤整備を進める。

熊野地域活性化計画の策定

新 2,900万円
熊野地方の持つ資源を最大限に生かした活性化計画を策定する。

県営住宅の整備

18億5,700万円
老朽化した県営住宅の建替え(57戸)を主体に、新規(48戸)継続(167戸)の建設工事などを推進する。

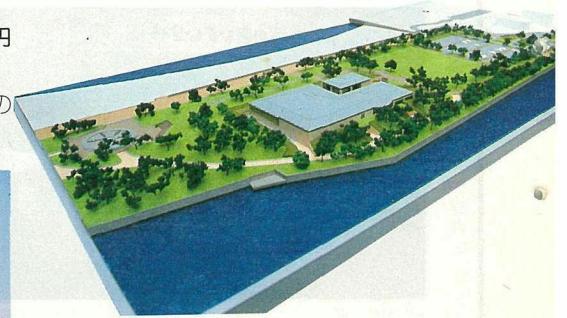


紀の川流域下水道の整備

31億7,700万円
紀の川の水質保全と都市の発展を目指し、流域下水道の整備を促進する。

公園の整備

8億9,600万円
和歌山市片男波地区に整備を進めていける「和歌公園」の中心施設として「健康館」「万葉館」の建設を促進する。



自然環境保全活動拠点の整備

新 6,000万円
東牟婁郡本宮町における自然環境保全活動拠点「ふるさといきものふれあいの里」の整備に対し補助を行う。

地域警察の刷新、強化

1,700万円
派出所相談員、ハイテク交番(テレビ電話などの設置)を整備し、派出所・駐在所の機能を強化する。

国際化への対応と教育の充実

姉妹(友好)提携交流の推進

新 1,400万円
フランス・ピレネー・オリアンタル県との姉妹提携を結び、国際的な交流を深める。



高等学校への情報機器等の整備

3億3,000万円
高等学校に情報機器等を整備し、情報化・高度科学技術社会に対応した教育を推進する。

高等学校の施設整備

33億9,400万円
教室、格技場、寄宿舎などの施設を整備する。

次代を担う人づくり

近畿青年洋上大学の実施

3,000万円
近畿2府6県が共同で青年を中国・韓国に派遣し、国際的視野を持つ人材を育てる。(本年は和歌山県が幹事県となる)

育児休業資金貸付

新 5,000万円
子供たちが集めた「カシの実」等の種子を「カシの木バンク」で苗木と交換し、子供たちの緑化への関心を深める。

中小企業の勤労者等の育児休業取得者に、休業期間中の生活資金を融資する。

カシの木バンクの設置

新 200万円
子供たちが集めた「カシの実」等の種子を「カシの木バンク」で苗木と交換し、子供たちの緑化への関心を深める。

おしらせ

催し

県民文化会館 ☎(0734)36-1331

第21回和歌山県新人演奏会 4月25日 午後1時
～ 大ホール 無料

植物公園緑花センター ☎(0736)62-4029

園芸教室「シャコバサボテンなどの育て方、植やし方」 4月25日

趣味の教室「春の原色押花の作り方」 4月11日、

18日

スミレ展 4月10日、11日

生け花展 4月17日～19日

〈春の催し〉

花き植木展、春の原色押花展、サボテン・多肉植物展、春の山草展 5月2日～5日

お気軽はどうぞ

交通事故相談

〔常設相談〕月～金曜日

場所 県庁交通事故相談所、東牟婁県事務所

〔弁護士による相談〕●県庁交通事故相談所 每月第1、3月曜日 ●東牟婁県事務所 4月5日、16日 受付 午後1時～2時

〔巡回相談〕●西牟婁県事務所 4月20日 ●伊都県事務所 4月28日 ●日高県事務所 5月11日 受付 午後3時まで

県民相談

〔常設相談〕月～金曜日

場所 県庁県民相談室、各県事務所

〔弁護士による法律相談〕毎月第2、4金曜日

受付 午前9時～11時 場所 県庁県民相談室

〔移動相談〕●粉河町役場 4月15日 ●串本町役場 4月20日 ●吉備町きび会館 4月22日

●龍神村村民センター 5月12日 受付 午後1時～3時30分

電波で結ぶあなたと県政

テレビ (テレビ和歌山)

きのくに'93 金曜日 午後10時～
ホットライン県政 (再) 日曜日 午前11時～
県政フラッシュ 金曜日 午後6時15分～
県民チャンネル 月～土 午後8時55分～
はばたく紀の国 土曜日 午後6時～

ラジオ (和歌山放送)

県民マイク 土曜日 午後2時30分～
県庁だより 月～日 午前11時40分～
(再) 月～金 午後5時40分～
(再) 土・日 午後6時～
定期便教育の窓 第2、4土曜日 午後2時15分～

文字放送 (テレモ西日本511#)

紀の国・和歌山情報 毎日午前6時～深夜0時



**生き方
フリースタイル
男も女も**

— 第45回婦人週間 —

4月10日から16日は婦人週間です。男女が性別にとらわれず、各人の個性を発

県では現在、和歌山市、有田市、白浜町において家計調査を実施しています。

この調査は、皆さんの家計の収入や支出を家計簿についていただき、家庭の収入や消費の内容、地域による暮らしの内容の相違などを調べるもので、国、県や市町村の政策立案等に利用されています。

一定の統計上の選定方法により選ばれた世帯に調査をお願いしますのでご協力ください。

この調査は、皆さんの家計の収入や支出を家計簿についていただき、家庭の収入や消費の内容の相違などを調べるもので、国、

県や市町村の政策立案等に利用されています。

手作りロボットで大奮闘!

「どんなもんだ!」「あれれ、どうも調子が……?」



二月十四日、和歌山市の地域地場産業振興センターで開かれた「オレンジ和歌山・ロボットコンクール」。アイデアいっぱいのロボットを操作、全八チームが総合優勝を目指して大奮闘しました。競技は、八朔をコンテナに入れてから積み上げるという内容で、コンテナを積み上げるだけだった前に比べ、うんと難しくなりました。

県民の皆さんに科学技術への親しみと認識を深めてもらおうと昨年から開かれているこのコンクール、競技を終えた参加者たちは、「今度こそは……」と早くも来年の大会に期待を寄せていました。



NEWS

「白良湯」が現代風に変身

白浜町の町営公衆浴場「白良湯」が装いも新たにオーブンしました。木造（一部鉄筋コンクリート）二階建てで、黒いかわら屋根と白い壁が白良浜の白砂青松にびつたり。一階に休憩室と身体障害者の方専用の浴場、二階に一般浴場があり、階段には昇降機も設置されています。

建物内からは青い海と白良浜が眺められ、観光地・白浜にふさわしいものとなっています。

(白浜町)



漁港にアートの楽しさを

近畿最大のマグロ基地に巨大マグロがお目見え！勝浦漁港に登場した観光客もびっくりのこの壁画は漁港のイメージを少しでも楽しいものにと県が進める「マリンアート事業」の一環として描かれたものです。長さ15㍍のクロマグロは、近くの観光桟橋からもよく見え、マグロの町のPRに一役買っています。既に串本漁港にも真っ青な海をはねる3匹のトビウオの絵が完成、また、田辺漁港では三壱崎海水浴場近くの防波堤にカラフルな海中の図柄を製作中で、今夏には訪れる海水浴客の目を楽しませてくれそうです。



ケアハウスで生きがいとゆとりを

和歌山市藤田の特別養護老人ホーム「山口葵園」にケアハウスが誕生します。

ケアハウスとは、高齢者の自立した生活を支え、在宅機能を重視するとともに、必要に応じて在宅福祉サービスが受けられる施設福祉と在宅福祉との複合的機能を備えたマンション形式の老人福祉施設です。

対象となるのは、自分で身の回りの世話をできる健康な方で年齢は六十歳以上。夫婦の場合どちらかが六十歳以上であることです。

くわしくは同ケアハウス☎(0734) 62-5757へ

(和歌山市)



あ か き と

四月。桜の季節です。夜桜見物もいいですが、桜の花に

見物もいいですが、桜の花にはお母さんに手をひかれ、真新しいランドセルの新入生が一番に似合っているような気がします。

新学期、新年度、新入社員、新…。正月は「初」なんとか、四月はすべてに「新」がついて、常に新しい気持ちを持って生きよ、という先人の教えでしょうか。

県庁も新年度。未来に向けた新しい予算もスタートし、元気のいいフレッシュマントちも仲間に加わりました。さあ！気持ちを入れかえて仕事をです。

クッキングで国際交流



県内在住外国人の方々と親しむ機会を広げようと、財和歌山県国際交流協会が実施している「ふれあい広場」。

今回は、「ふれあい広場PART5」として「クッキングフェスティバル2」を3月13日、和歌山市ふれ愛センターで開催、30人が参加しました。

外国人の方をリーダーに、日本料理、韓国料理、中国料理、ブラジル料理、メキシコ料理、シンガポール料理の6つのコースに分かれ、参加者と共同しての料理作り。

それぞれ、お国の自慢料理を和気あいあいと作った後は、完成した料理を囲んで交流会を行いました。

日本人初のノーベル賞 湯川秀樹

ふれあいと
の知識
シリーズ⑧



日本人初のノーベル賞受賞者。ベル賞学者・湯川秀樹は、田辺市出身の地質学者・小川琢治の三男として、明治四十年東京に生まれた。(後に湯川家に養子に入る)長男は冶金学、二男は東洋学、弟は中国文学と、いずれもが一流の学者という小川家。勉強一筋の生活を連想しがちだが、小さい頃はスポーツ万能、文学にも広く親しんだという。

京大物理学を卒業後、原子核に関する理論研究から入り、当時学界のなぞとされていた宇宙線粒子の中に、電子・陽子・中性子のほかに、新しい粒子である中間子の存在を予測し、世界の物理学界を驚かした。その後、中間子の存在が実験的に証明され、昭和二十四年日本人として初めてノーベル賞を受けた。「今にして思えば、物理学は私にとって唯一の道だった。ほかのことをやついても失敗に終つただろう」受賞時の彼の言葉である。

一方で彼は、原子力などについて知れば知るほど、その平和的利用の必要と無謀な戦争への悪用をおそれた。そこで学者仲間と「世界平和七人委員会」を結成し、積極的な平和運動を開拓した。昭和五十六年、七十四歳での世を去ったが、生前、彼は紀州人の血を引いたことを自慢したといふ。紀州人の持つ進取の気性と反骨精神が未知の分野へ取り組む自分にとって大いな力だったと…。